



Library Liébana

2022年10月度展示内容のお知らせ

【今月のベアトゥス写本】

黙示録には世界地図の話は出てきませんが、残存するベアトゥスの黙示録註解書の22冊のうち14冊に「世界地図」が描かれています。9月に続き今月も4冊のベアトゥス写本から中世のキリスト教世界観に基づく世界地図を紹介します。



(ウルジェイ写本から)



(シロス写本から)



(マンチェスター写本から)



(エスコリアル写本から)

【中世の写本：プトレマイオス世界図】

150年頃に著されたプトレマイオスの「地理学」をもとに15世紀前半に作られた世界地図



ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

ファクシミリ本とは：
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。

愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン B1F
毎週日曜日 10:30~17:30
H.P.

10月の開館日(予定)
日・水・木・金曜日
(HPで確認下さい)



10月						
日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

7日(金)はお休み
28日(金)は午後から

8日(土)は参加館でブックマーケットに参加

ベアトゥスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトゥス(ベアト Beato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトゥス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22 写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書き、製本様式や装丁などをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

今月のベアトゥス写本の挿絵 【世界地図】

黙示録を含めた聖書には出てこない「世界地図」がなぜ描かれているのかよくわかりませんが、アローヨ写本の解説によると、

「世界地図」は使徒たちが伝道し、教会を創設すべき「地上の全世界」を示す。「イングランド」などの島や「太陽」「太洋」の擬人象のほか、セイレンや船、魚を含む大海が囲む円形図として表され、内部が、「地中海」(中央縦及び横水平に区切る)によって、アジア(左上の一体)、中央にカッパドキアの街、ヨーロッパ(左下、大河により細分化された中にローマやトレドToletumが認められる)、アフリカ(右側)、バビロンBabiloniaの名がある)に分けられ、裸体のアダムとエヴァ(その脇に生命の木にまわりつく蛇)がいる「失われた楽園」も描かれている。古来のOrbis TerrarumのOとTを組み合わせた図式的表現を踏襲した世界図である。

(アローヨ写本挿絵の記述 安發和彰 より)

完本22写本のうち14写本に世界地図が描かれています。

またこのような世界地図をOT図(またはTO図)と呼びます。

【エスコリアル写本】

10世紀末ごろ、リオーハのサンミジャンデラコローヤ修道院で制作されたと推測。

縦 335 横 225 と小ぶりな写本。151葉の羊皮紙に52点の挿絵が描かれています。

世界地図は描かれておらず、他の写本の世界地図の中に描かれている「エデンの園」のアダムとイブが全頁大で描かれているのが特徴です。

今月中世彩色写本 【プトレマイオス世界図】

プトレマイオス自身が作成した地図は失われたが、150年頃に著された「地理学」に当時の様々な場所(約8000か所)の座標情報が記されており、「地理学」が1300年頃に再評価された際、その座標情報を使い、地図製作者はプトレマイオスの世界図を再構成することができた。

展示の写本は、1406年ヤコボ・アンジェロのラテン語訳になるプトレマイオスの「地理学」の数多くの版の中で、地図的表現および描写の精密さという点で、最も丹念に制作されたものの1つで、15世紀前半にドイツ又はイタリアで制作されたと考えられている。

【ウルジェイ写本】

10世紀後半にスペイン北部のアストゥリアス東部で作られた。ロマネスク様式のモサラベ風の90の彩色挿絵が描かれています。世界地図は下書きのままで彩色されていません。

【ライランズ(マンチェスター)写本】

ほぼ完全な状態で保存されてきた数少ない写本です。後期カロリング文字が2列に書かれ、110点の挿絵が金銀で鮮やかに彩られています。

【シロス写本】

1109年完成。これまでより一段と精緻な図形化したモサラベ様式の挿絵が描かれています。

これら3写本はモーガン写本やヴァルカバード写本・ファクトゥス写本と同じ系統に属し、世界地図も非常によく似たものとなっています。